

# 希望郷いわて文化大使を対象としたアンケート調査結果の取りまとめ

## ■調査の概要■

### 1 調査の目的

次期総合計画の策定に向けて、県外で活躍している希望郷いわて文化大使の視点で見た『現在の岩手県のイメージ』や『これからの10年の岩手県』に対する意見を把握し、今後の政策の方向性等の検討に活用することを目的とする。

### 2 調査の概要

- (1) 調査対象 平成29年10月時点で希望郷いわて文化大使に登録されている方
- (2) 調査対象者数 146人
- (3) 調査方法 調査票を郵送
- (4) 調査時期 平成29年11月
- (5) 調査項目
  - ① 『現在の岩手県』に対するイメージ
  - ② 『現在の岩手県』における強み・魅力、弱み・課題(自由記載)
  - ③ 『岩手県のこれからの10年』において、どのような県になればより幸福を実感できるようになるか
  - ④ これからの岩手県に期待すること、頑張してほしいこと(自由記載)
- (6) 有効回答率 40.4%(59人/146人)
- (7) 回答者の属性

#### ① 性別

区分	回答者数	割合
男性	47	79.7%
女性	12	20.3%

#### ② 年齢

区分	回答者数	割合
30代	3	5.1%
40代	8	13.6%
50代	17	28.8%
60代	14	23.7%
70代～	17	28.8%

#### ③ 職業

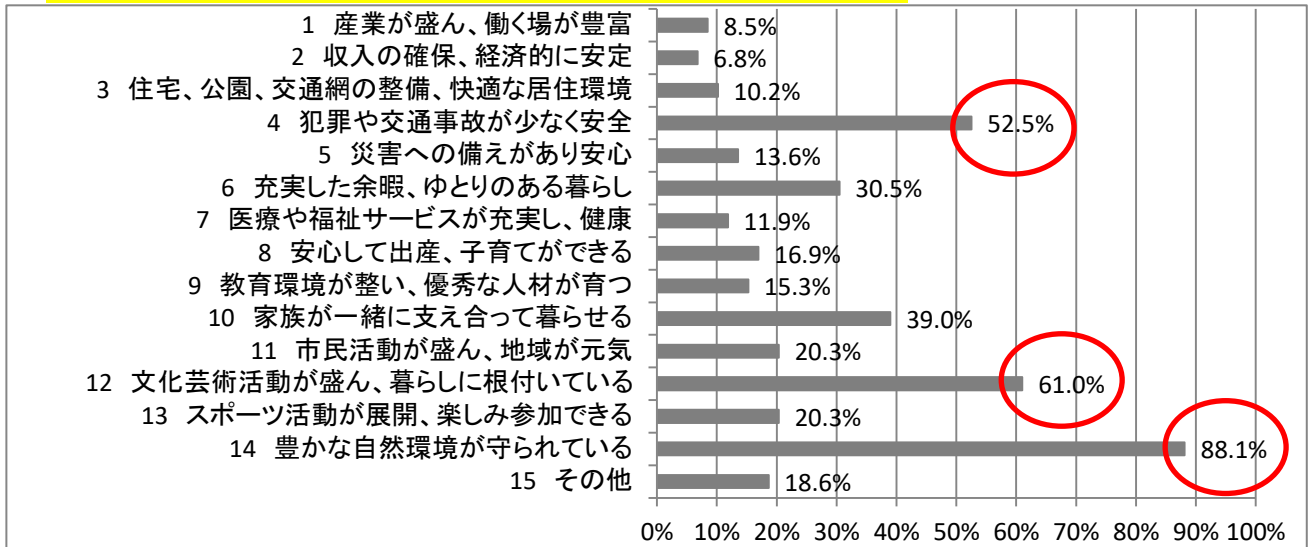
区分	回答者数	割合
大学関係	11	18.6%
芸能関係	8	13.6%
芸術関係	8	13.6%
料理・食関係	2	3.4%
スポーツ関係	1	1.7%
マスコミ関係	3	5.1%
会社役員等	8	13.6%
団体役員等	6	10.2%
医療関係	3	5.1%
その他	9	15.3%

#### ④ 居住地

区分	回答者数	割合
首都圏	41	69.5%
中京圏	2	3.4%
関西圏	8	13.6%
九州圏	5	8.5%
その他	3	5.1%

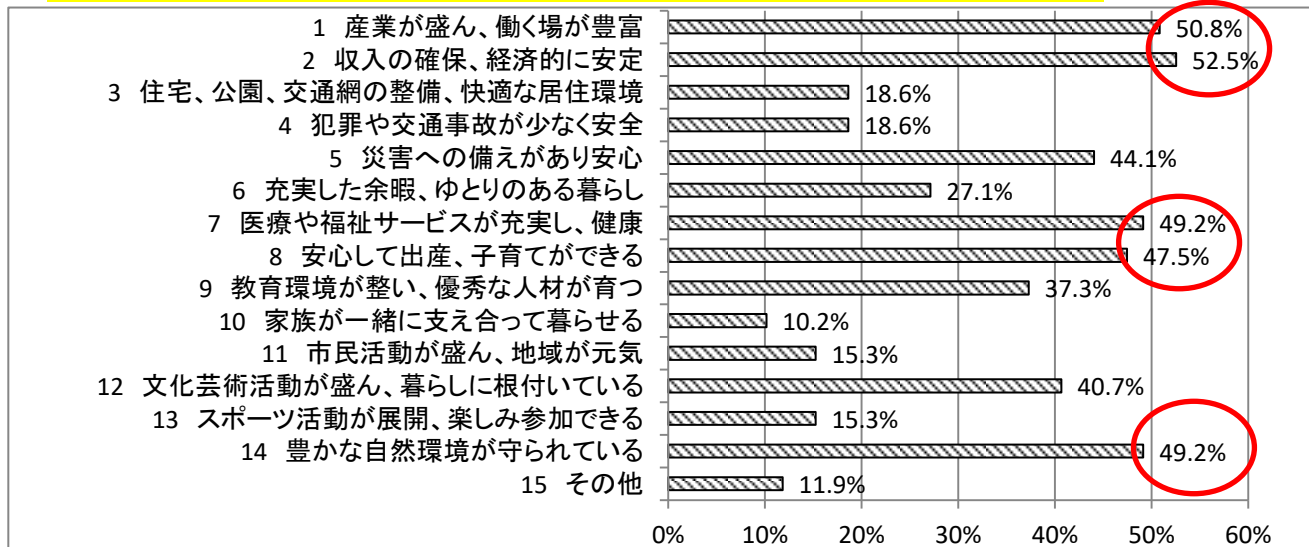
問1 『現在の岩手県』に対するイメージ(当てはまるもの全て選択)

● 「14 豊かな自然」、「12 文化芸術活動」及び「4安全」が上位。



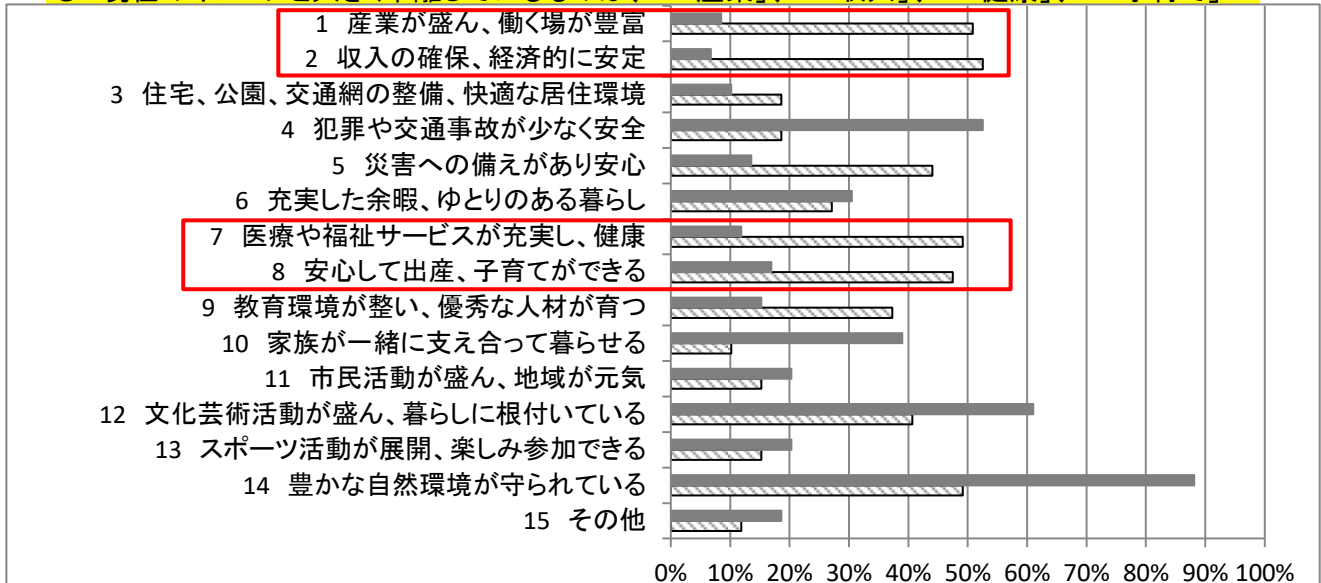
問3 『岩手県のこれからの10年』を考えたときに、どのような県になればより幸福を実感できるようになるか。(当てはまるものを5つ選択)

● 「2 収入」、「1 産業」、「7 健康」、「14 豊かな自然」や「8 子育て」が上位。



【参考】問1と問3との比較

● 現在のイメージと大きく乖離しているものは、「1 産業」、「2 収入」、「7 健康」、「8 子育て」





問2(1)『現在の岩手県』の強み・魅力		豊かな自然	人間性	伝統・文化	交通	観光	広大な県土	魅力的な食	科学技術	産業	農林水産物
● 「豊かな自然」、「人間性」、「伝統・文化」に関する内容が多く見られた。											
28	<p>私は、仕事の関係で日本中あちこちに行く機会が沢山あります。やっぱり会話の中でその県の有名な事柄を中心に会話しますが、必ず私の出身地の事も話題に上がります。その際、相手が岩手の事をどれだけ理解しているのか？岩手県がどれだけ認知されているのか？岩手出身者としては他県から見た岩手県の良さ！悪さ！と言う事がとても気になります。</p> <p>岩手には宮沢賢治や石川啄木、そして中尊寺金色堂、南部鉄器、リアス式海岸などなど、岩手には素晴らしい事柄が沢山ありますよね。</p> <p>しかし他県の皆さん(日本中)にはまだまだ岩手の良さが伝わっていないな！と強く感じます。特に西日本(九州四国中国地方関西)が方々には、岩手県は東北地方と言う事は何気なく知っているけど秋田と岩手、青森、宮城など、位置関係が全くわからない！と言われる事が80%近くあります。その中でもガツカリするのは、長野の横？とか新潟の横だっけか？とかと言われる事も…。確かに逆に言えば、岩手県の人に九州地方は何県あり その位置関係は？と問えば、きつと完璧に言える人は何%いるのでしょうか？</p> <p>少なくとも東北と言えば宮城県・仙台市と岩手県・盛岡市と言ってもらえるくらい、もっともっと岩手の良さを伝え 打ち出して行きたいですね。</p> <p>私は、隣県の秋田、青森などと比べるのではなく、どうすれば日本中の方々から注目してもらえるような切り口を見つけ「日本の岩手県」という位置で全国的に発信していけるのか？もう一度考えてみては如何でしょうか？</p> <p>生意気な意見を言いますが、私も岩手を離れてみて岩手県の良さ故郷の良さを感じました。</p> <p>私は、今後岩手の発展のキーワードは「伝統と観光をイベントに！」だと思っております。</p> <p>これを真剣に考えればターゲットとマーケットが見えてきます。</p> <p>もちろん交通関係のインフラ整備などもリンクして来ますよね。</p> <p>「人の心を動かし、人が行動したくなるような事」を考えてみては如何でしょうか…。是非、岩手県の行政の方々には頑張って他の県に負けない岩手県の魅力を形にし情熱を持って発信して欲しいと、ものすごく応援しております。</p>	1		1							
29	大きな可能性を秘めた県である。										
30	自然に恵まれ、快適に暮らせる。海産物を始めとした豊かな食文化がある。伝統芸能が豊富。	1		1				1			1
31	震災にも負けず。頑張り続ける県民、辛抱強さ。人柄の良さ、真面目な人が多い、県内には大自然の魅力から歴史、文化遺産、など多くの観光的要素がある。観光客の立場からすると、旅行目的の要素が揃っている。伝統文化が継承されている。		1	1		1					
32	食材の美味しさ、自然の雄大さ、素朴な人柄、温泉。	1	1			1		1			
33	自然の美しさ。	1									
34	・災害に強い街づくりを目指している。・復興、復旧に全力で取り組んでいる。・自然が豊かで農産物が豊かである。	1									1
35	料理の面から良き食材に恵まれている。特に海産物、若い方々の食材に対する意気込み。										1
36	盛岡を中心とする内陸部の農工業の実力、三陸沿岸の海洋をとり込む漁業、通商の実力、および両者の協力による県民教育の充実とその成果。		1							1	1
37	自然環境。人情が温かい。	1	1								
38	豊かな自然	1									
39	広い大地、豊かな自然、美しい景色、食べ物のおいしさ、人柄の良さ、伝統や文化を大切に育てる環境	1	1	1			1				
40	自然環境に恵まれ安らかに暮らせる県であること。本州一の広大な面積を持つ岩手は魅力一杯です。どうしてもっと行動で宣伝してほしいと思う。	1					1				
41	広い県土を有し、海・陸の自然に恵まれた三陸海岸部は大きな魅力であり、強みで	1					1				
42	宮沢賢治など全国あるいは全世界に「ここが聖地」といえるコンテンツがいくつもあ。ものがたり性、土地のオーラに恵まれていると思う。			1							
43	自然、空気や水がきれい。のびのび生きることができる。	1									
44	①豊かな自然に恵まれ、独特な文化的風土を持っている。②人々が(県民性)自由(精神)で他利的、かつ独立心が強く群れない性質を持っていること。	1		1							
45	海と山	1									
46	厳しくも豊かな大自然。それがもたらす海山の恵みと産業。そしてその中で育まれてきた人々の暮らしと伝統、やさしい心。そこから生まれる信頼のイメージ。	1	1	1							
47	自然環境が豊かであり、日本国内でも有数の県である三陸沖の有力な漁場があり、水産物・加工も含め、強力。農産物、林業関係の産業化の潜在能力が大である。	1									1
48	盛岡駅の駅ナカのレストラン街が新しくなったように観光資源を県外の人にアピールする力が強くなった気がします。					1					
		32	14	18	1	7	6	6	2	2	8



問2(2)『現在の岩手県』の弱み・課題		PR力不足	人口減少・流出	医療・介護・福祉	出産・子育て	交通	インフラ整備	人材育成	教育	産業・雇用	国際化
	● 「PR不足」、「人口減少・流出」、「交通」に関する記述が多く見られた。										
1	・リーダー不在 ・発言力の弱さ ・議論好きではあるが、実行力がない										
2	「希望郷」の具体的なイメージが伝わっておらず、次世代への「希望」につながる実践が貧弱と思える。										
3	宣伝力。様々なイベントを行っているにもかかわらず、それを効果的に世間に伝えきれていない。	1									
4	人口減による各種サービスの低下が懸念させる。		1								
5	岩手に限らず、首都圏への人口流出による様々な弊害があることと思う。人を呼びこむため多方面に働きかけ、岩手の魅力を伝えるため一層の工夫を。		1								
6	・多様性の共有、外へのアピール(岩手であたり前と思われる事が実は素晴らしい事なのです) ・医療や、出産、子育てに関わる人員と設備の充実	1		1	1						
7	移動手段(交通)の不足。情報発信の下手さ。企画実施はできてもフォロー不足。中途半端。雇用(仕事)の不足。外が感じる岩手の魅力について中の人々が十分に認識されていない。ずれてる。	1				1					
8	盛岡や、新幹線が通っている地域以外のアクセスの良くない場所は、産業が発展しにくい。特に久慈市、宮古市、とにかくインフラ整備にバジェットを。						1				
9	問2(1)記、岩手の魅力として挙げた内容がバラバラに分散して、相乗的な利益として変換してゆこうとする。行政の気概や気づきを感じられず「事なかれ」を感じる。										
10	アピールの弱さ、豊かな素材を持ちながら生かし切れていない点があると思います。郷土の光に気付いて自信を持って輝かしていくべきです。	1									
11	若者の雇用が少なく、人材が県外へ流れていると聞いています。インターネットなど普及し、ある種の仕事は”どこにいてもできる”ようになりつつある現代だからこそ、暮らしの場として岩手を選んでもらえるような、ユニークな県づくりが為されるとよい		1								
12	若手人材育成と情報化の官民一体の取り組み。							1			
13	全体的に消極的(県民性)、また沿岸と沿線の認識の異なりが大きい。県立機関の偏りが激しい。	1					1				
14	人口の減少。若者が減少している。		1								
15	問1について丸をつけなかった項目については岩手のイメージとは思わなかった。その視点でアピールしたいならば何か打つべき手があるだろう。										
16	隣県の秋田に比べ、学力テストなどで劣る。教育のやり方。人材が少ない。岩手県のPRのしかた、マスコミの話題が少ないように思う。								1		
17	・)多くの強み・魅力を有しているにもかかわらず、それらを十分に岩手県の地域振興・活性化に活かされていない感がある。内陸地域の農牧畜業、および平泉や温泉地を中心とした観光業、沿岸域の豊かな海産物を産する水産業、それぞれの振興策がばらばらに進められているように思う。内陸地域と沿岸地域とを連携させた振興策、具体的には内陸の観光業を中心に農牧畜業と水産業を有機的に連携させた振興策があってもよいと思う。交通の便もよく全国から多くの観光客が集まる内陸の温泉観光地は、岩手県の農産物や水産物を全国に発信する場として絶好である。農産物や水産物のブランド化戦略を考える上でも温泉観光地との連携を図ることは重要と考える。 ・)沿岸地域において特に顕著な人口減少と高齢化、そして高齢化に伴って不可欠となる介護・医療・福祉政策。		1	1							
18	県外からの認知度の低さ、空路のアクセスの課題、遠隔地からの観光客が来やすい工夫。					1					
19	小さなムラ社会の中での「小さな足の引っ張り合い」がある。(せつかくの「人材」が地元では、生かし切れない場合がある。)										
20	・産業の活性化									1	
21	人口減。過疎化。		1								
22	海外との経済ネットワーク										1
23	・プロモーションが下手(最近ようやく金色の風で露出ありますが) ・交通面(特に沿岸部へのアクセスの悪さ)	1				1					
24	過去のしがらみをのりこえることが弱い										
25	アピールする仕組みがない	1									
26											
27	そうした可能性を、県のリーダーが、引出せないでいる。										
28	インフラ整備も今一歩。日本の手ベツトと言われる事もあり、過疎地が多い。		1								
29	福岡からは直行便がありますが、運賃が高い(仙台便、札幌便に比べて)。冬の岩手は魅力的なのですが、九州の人間すると冬の寒さが応える。自然環境なので仕方ありませんが。)県全体、県民の地域の魅力がまだまだ伝わっていないような気がし	1				1					

問2(2)『現在の岩手県』の弱み・課題		PR力不足	人口減少・流出	医療・介護・福祉	出産・子育て	交通	インフラ整備	人材育成	教育	産業・雇用	国際化
	● 「PR不足」、「人口減少・流出」、「交通」に関する記述が多く見られた。										
30	アピールの弱さ。素材を生かしきれていない。	1									
31	県のPR不足。いろいろの事をやられているようですが、あまり知られていない。もったいない。	1									
32	交通ネットワークの充実。					1					
33	岩手県内の若者の心理的な岩手県離れ、それに対する大都市指向、郷土離れ。実は、郷土離れは、若者ではなくて、親の方の先んじている、という事実。		1								
34	医療の充実。			1							
35	人口減少		1								
36	特徴や個性があいまいなのか魅力が他県に伝わっていない。教育や産業など基盤になるしくみがあるものの、それがまわり(県内外)に知られていない。ポスターを作るのではなく、人と人との交流など、地道に構築していくことが肝要と思います。	1									
37	岩手県の良いところをもっと宣伝してほしい。宣伝の仕方がパンフレットに頼りすぎていて行動で良い県(住んでみたい)を伝えてほしい。パフォーマンスが必要です。	1									
38	岩手県の知名度が低い。平泉中尊寺を知っていても岩手県であることを知らない。	1									
39	“国”との関係が弱い。かつては総理大臣を何人も出すなどしたが、災害のせいと国が自民党系であるゆえに、上下でいえば下に見られている感じがする。県民性もある。九州、関西などのように“俺が俺が”なキャラではないので、どうしても後回しにさ	1									
40	やはり仕事の雇用が少ない。若者が遊べる場所が少ない。郊外は不便。車がないと移動ができない。					1				1	
41	①他県では見られない文化的風土を産業や生活にどう生かすか。(課題)②人々が利に疎く、他人を容易に受け入れず孤立しがちである。(弱み)③産業の育成により働く場を増やすこと。(課題)									1	
42	交通ネットワークの今少しの充実					1					
43	少子高齢化と災害の影響で地域の力が弱まる中、どう活性化し、自然という資源を生かした地域の魅力向上と伝統の保持につなげてゆけるか。		1								
44	人が穏やかであり、温和人柄は素晴らしい反面、積極さに欠ける。盛岡と沿岸部をつなぐ交通体系が改善されてはいるが、時間距離がかかる。製造業、企業等の有力なところが少なく、地域就職しにくい。	1								1	
45	教育の改革が必要に思えます。例えば、スポーツが得意な子が県外の学校に流出しているということを聞いたことがあります。								1		
46	口先では地方創生と言いながら、実際には地方を疲弊させています。これは被災地の鉄道の駅を無くしてしまっているからです。大船渡線の鉄路復興を実現すべく、県が主導して、そのための特別立法をするよう国に働きかけていただきたいと思いま					1					
		15	10	3	1	8	2	1	2	4	1

問4 これからの岩手県に対して期待することや頑張してほしいこと(メッセージ) (自由記載欄)	
1	・リーダーの養成(特に地域のリーダー)・発信力の増強・岩手大学 県立大学 との連携による産業振興・政策の統一感(各部署、機関がバラバラな動き)
2	「いわて銀河プラザ」のような物産だけでなく、いわての文化的価値を学習しスタディツアーにつながる学習拠点を是非東京へ! ex.「東北ツーリズム大学や東京キャンパス」の構築
3	雇用、子育て、教育をしっかりしないと人は集まらないし、子供も増えないので重点的にやって欲しい。医療、介護も必要だが、IT、AI、ロボットなどを組み込んだ人手が少なくて済むシステムを開発、運用して欲しい。
4	岩手の人々とおつき合いでいつも感じることは、「人の温かさ」です。岩手の食や地場産業、伝統芸能と共に「人の温かさ」が多くの人々に伝わり、岩手を訪れるきっかけとなれば素晴らしいことだと思います。「岩手の人の魅力」を伝えるお手伝いを、微力ながら今後も続けていきたいと思っています。
5	・もっと県外(の人たち)に岩手じまんをしてほしいです。 ・県内の友人、知人からは医療、出産、子育ての大変さ、苦労を伺う機会が増えてきました(震災後)。医療、福祉サービスの充実、箱モノではなく”人材”の充実に期待します。
6	SNSの積極的な活用。情報発信についてはどこに居てもハンディない。例えば食べログは観光客にとって有効な食探しのツールだが、投稿数が都会に比べて少ないために、岩手の店のPRが不足する。県職員の方が、せめて美味しい店だけでも投稿していけば、県内の飲食のPRにつながる。どうしても高齢化が進めばこのツールを使用できないので仕方がないが・・・。tw、インスタも同様。職員の方全員がイネするだけでも良い数になる。強制するものではないが、そのような意識があればもっと盛り上がる。”素敵な景色”の発信も個人レベルで(個人の方が良いのかも)やって下さればと思う。一生に一回は見てみたい岩手にしかない風景をどんどん発信して欲しい。観光客を呼ぼうとするならば、他の方々が何を岩手に望んでいるか、それを理解して、企画発信してほしい。 ・温泉と岩手にしかない景色をもっとPRして欲しい。 ・三鉄と桜 仕様のスポットを作って欲しい。 鉄オタさんやカメラマンが季節を変えて来るはず。ありのままの自然の他に、作られた景色も必要かと思えます。 ・仕事があれば若者は残り易い(移住も)。ある程度、選択の幅が広い職を作ってあげて欲しい(その環境作り)。 できれば大使の名刺デザインを世界遺産の他に三鉄や海岸など被災地の美しい自然のものも作って欲しい。以前の銀河鉄道(賢治)も良かった。ここに行きたいと思わせるような美しいものが欲しいです。その方がPRし易いです。
7	(都内で)都営線に乗っているが、岩手県のポジティブな広告は最近よく見かけます。それを見てまた宣伝しています。今後も積極的に続けて欲しい。産業のアクセスポイントは仙台⇄八戸に新幹線を通して、三陸の主要市、大船渡、宮古、久慈に通じて欲しい。そして岩手県の漁業、物産をクイックに届ける。若者(岩大や岩手の学生のアイデアを聞いて、アクションにつなげて欲しい)。
8	花巻空港を真の「国際空港」として、台湾台北のみならず、台湾高雄やロシア(ハバロフスク、コムソモルスク)セブ島やグアム、サイパンとの積極的な取り組みにより、観光収益に結び付けるべきと感じます。そのための行政側で取組むべき「しかけ作り」の創意工夫に期待します。
9	自然、文化共に豊かな資源を有する岩手。大震災を経験された若者の中から、これからの日本を背負って立つ人材が多く育つことと確信しています。若者が多くのチャンスに恵まれ、国際感覚をもって、地域の為に働ける環境が広がるよう願います。岩手は日本人の心のふるさとになれる土地。若者のふるさとに誇りをもつような県づくりを目差していただきたいです。
10	岩手県だけの発展だけでなく、東北地方全体の中心的役割を果たし、全般的な発展の中で、その中でも一番基盤のある県に発展して欲しい。そのためには長期的視野に立って若手の人事育成・国際化を期待
11	山、川、谷、海と自然に恵まれ、食品は安くて美味しい。他の県にはない、オリジナルな発想で人々を呼び込み、文化と産業の発達を望みたい。
12	とにかく空気や水のきれいさ、豊かな自然は失わないでほしいと思う。それこそがすべての基盤であり、一度失ってしまったら、取り戻すことがとても大変だと思うからだ。
13	外から見るとやはり、岩手県に行ったら素敵な場所を訪ね、おいしい物を食べ、温泉に入りたいので観光(サービス)県を目指して欲しい。 観光県に力を注ぐ事で周辺の労働力が促進されると思う。
14	農業研究で「金色の風」が新たに世にでたのは喜ばしい。畜産研究においても宮崎、鹿児島に負けない成果を期待する。
15	経済的発展よりもむしろ”幸福度”を上げるための施策に期待する。岩手県は自然環境、食資源など幸福度を上げる要素が豊富にある。



問4 これからの岩手県に対して期待することや頑張してほしいこと(メッセージ) (自由記載欄)	
16	和歌山での同様ですが、高校を卒業後大学へ進学した若者が県内に戻らず大都市圏へ就職するケースが多く、地方都市の人口減少に歯止めをかける為にも人材をつなぎ止める働く場の創出が必要と思います。
17	県、市、金融機関、地場産業が連携して、県内への企業誘致、県外への商品販売ルート発掘、県外企業とのビジネスマッチング等、地方創生に向けた努力が必要と思います。ILCも大きなチャンス。
18	東京での業界でのつき合いは、意外に狭い。一業界内にとどまるが、岩手に居た時は、異業種の交わりが多かった。地方の他業種の人々との交流から(一つのふし穴から広い世界が見えたが)、東京は一業種の大きな中に埋没し全体しか見えない。先端技術の開発には、岩手は向いていると思う。
19	・産学官連携の強化により地域課題を解決していくこと。 ・強みの発信をもっと強化すべき。
20	自然災害へのそなえについて、次世代にどう伝えていくか。 ILCなど、新たな産業の進展。
21	政治の力を発揮できるために、社会教育の向上ですネ。県庁が郷土岩手を育てるのですから。有権者(県民)がいい政治家を育てるために…。岩手の風土は21世紀の宝です。自然と人との関係を深める、ローカルスタンダードこそ岩手の生きる道では。オンリーワンを目指すために努力してほしい。
22	最近、経済の停滞etc.もあり「幸福度」がよく議論されるようになっていきます。岩手は北東北の中でも太平洋側で冬も明るく、非常の暮らしやすい土地です。例えば、引退後の永住地としても魅力が大きいと思います。「幸福度」「暮らしやすさ」を前面に…。
23	自然と人間の調和
24	もっともアグレッシブに岩手県を全国の最先端として若者や産業、世界的なIT技術等を引込む為の、圧倒的なアイデアを集めることが必要です。
25	岩手県は大自然に恵まれ、食文化も豊かで、伝統芸能も盛んで、東京には無いすばらしいものが多くあります。一定収入が確保されるような産業、サービス業等を発展できれば移住者も増えると考えます。
26	時間はかかるかもしれないが百年の計でじっくり、しっかり復興にてほしい。「防災先進県」(少々言葉に語弊はあるかもしれませんが)として3.11の教訓を踏まえ、他県市町村に対し、防災の大切さを伝え広める活動を展開する。(熊本地震の際も岩手県の対応が一番スムーズだったと聞いています。)
27	福岡空港発→花巻空港行の出発時間を早めてほしい。 ※岩手県の九州における情報発信地である「みちのく夢プラザ」(福岡市天神)で、もっと岩手県のイベント等を行ってほしい。
28	せっかくの自然、食材、温泉、宿など、良い物(売り)を生かしきれしていないような気がします。送られてくる冊子等も、残念ながら魅力にかけている。宣伝、アピールを強化してはどうか。
29	大勢いる いわて大使の活用。年2回集まって会食するだけではムダだと思います。イベント等の盛り上げ役に。
30	古いイメージ、今だに小澤一郎の県と云われるのがこたえます。
31	・農業(果物・畜産)振興 ・スポーツ振興(市民がいつでも、どこまでスポーツができる環境)の整備。
32	若者の教育、自主勉強は、中高時代に決まる。少数でも良いから、有能な先生を町に呼び、10代の若者の肌を接した教育をまかせたいのだが、いかん!
33	自然が厳しいが、人情のある、心のゆとりとゆずり合う気持ちの豊かな住みやすい長所を伸ばしてほしい。
34	全てにおいて平均的な向上政策よりも一点集中で他県に例のない特色ある施策を!
35	人にも自然にも産業にも恵まれている岩手県。なかなか日本全国のブランド順位や知名度が高くないのは、個性を際立たせることが必要なのかと思っています。多くの魅力がある県の良さを戦略的に発信してほしいと思います。もちろん順位を上げることが先ではありません。順位はあくまで指標、結果であり、そこに至るまでのプロセスを見直すことも必要かと存じます。
36	岩手県の良い所をもっと積極的に宣伝活動すること。例えば各地にある県人会とか岩手の出身者を通じて各種のイベントとか又は行政が直接外に出ていろんな企画を通じてもっともっと岩手県を宣伝すべきである。パンフに頼り切っているように思えてならない。
37	広報誌北のいわて最前線(10月)にも報じられていますが、国内の文化財修理等に必要な漆は国産が少なく、やむなく輸入漆を使っています。将来も需要が見込まれる漆の生産に向けて、原木を増やし、職人の育成にも力を入れて他県にない、岩手(浄法寺)の漆の生産に力を入れてほしい。岩手の特産品として。
38	人のつながり、。“絆”という言葉にはテアカがついてしまったが。誰か困っていたら助ける。助けてもらったことがあったらその相手に直接返すのではなく、別の困っている人を助けられるときに助けるような。ギスギスしてメンツや人ぎきに委縮するのではなく、Open heartでみんなをしあわせをめざしてゆくのが良いと思う。
39	仕事の雇用を増やしてほしい。盛岡以外の過疎化が進んでいるので、飲食店、アミューズメントパーク等、若者が遊べる楽しめる場所を。交通の便を盛んに。



問4 これからの岩手県に対して期待することや頑張してほしいこと(メッセージ) (自由記載欄)	
37	現在の岩手県のあり方にほぼ満足していますので、今の岩手の持っている個性を消さないよう守って頂きたい。但し、防災(台風、地震、津波、噴火等)については、今度十分な対策を講じて行って頂きたい
38	多様な情報発信を!
39	“大自然とまじわる理想郷”そんなブランドイメージの確立と世界への発信が鍵と思います。少子化で国内市場は縮小し、既存産業による成長は限界といわれる中、海外も視野に入れた観光産業(インバウンド)は倍以上、伸びが期待できるといわれる。オリンピックを機に“世界理想郷IWATE”のブランドを発信し、人々を呼び寄せ、併せて第一次産業も活性化させる策を図る。国内市場が縮小し、地域も人口減が避けられない中で、現実的な地域活性化策は「観光・レジャー」と考えます。
40	他県に比較して、後発県になるとは思いますが、それだけに新しいことに取り組める余地が相当にある。大学の電力分野と民間企業との連携による新分野開発や技術革新に寄与できる体制・環境づくりが重要と思う。
41	福島原発事故以来、あまりに政府や東電のあいまいで虚偽の放射能測定に対し、まだ国民の心底に根強く残る安全への不安に対して、県は信用に足りる科学的データを明確に情報を発信し、岩手県の“負のイメージ”を払しょくし続けて、安全を宣言することでしょう。宮沢賢治が思いを込めた“美しい岩手”の復興を祈っています。
42	県内の鉄道網の再整備にしっかり取り組んでもらいたい。特に大船渡線は、BRTから鉄道復興に転換すべきです。そのための特別立法を実現すべく、国に働きかけてほしい。